

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		予防接種事業			担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	29121	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 ■ 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	予防接種法 深谷市任意予防接種費用助成金交付要綱				
	小項目	1	健康づくりの推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		本事業はA類疾病（ロタ胃腸炎、不活化ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、結核、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、子宮頸がん）及び、B類疾病（高齢者インフル・コロナ、高齢者肺炎球菌、带状疱疹）の発症・重症化防止として、予防接種法等に定めた年齢の市民を対象に、接種機会の安定的確保、高い接種率の維持を目指すものである。令和2年度から5年度は新型コロナ臨時接種を実施、令和6年度より高齢者新型コロナ接種がB類疾病の定期接種となった。令和5年度より任意接種（带状疱疹、おたふく）の費用助成を開始。令和7年度より带状疱疹が定期接種（B類）となった。									
目的 ※何のために		A類疾病の発生及び蔓延予防、B類疾病の個人の発病また重症化防止、その他任意接種となっている疾病の発症予防・重症化防止のため。									
対象 ※誰・何を対象に		・ 予防接種法、任意予防接種費用助成金交付要綱に定められた年齢の市民									
手段 ※どのように		・ 委託医療機関での個別接種 ・ 任意予防接種の費用助成									
成果 ※何を求めるか		予防接種の接種機会を安定的に確保することにより、接種率の維持・向上を図ることができ、感染症の発生及び蔓延を防止し、市民の感染症の発病また重症化リスクを軽減することができる。									
執行体制		■ 職員 ■ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 市民ボランティア □ NPO等 □ その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	2	予防接種費	予防接種事業		616,935,937
本事業の 主な業務		・ 個別予防接種（A類疾病）							・		
		・ 個別予防接種（B類疾病）							・		
		・ 予防接種補助金交付（委託契約医療機関外での接種）							・		
		・ 带状疱疹ワクチン定期接種導入・実施							・		
		・ 造血細胞移植後ワクチン再接種費用補助							・		
		・ 任意予防接種費用助成（市が指定するワクチン接種）							・		

2. 事業費（投入コスト）

※令和7年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		・風疹追加的対策の継続・子宮頸がんキャッチアップ接種の開始 ・臨時接種の継続	・臨時接種（新型コロナ）継続・任意予防接種費用助成制度の新設	・予防接種法改正に対応した定期予防接種の実施（新型コロナ・5種混合・高齢者肺炎球菌）	・予防接種法改正に対応した定期予防接種の実施（带状疱疹）	・予防接種法改正に対応した定期予防接種の実施（妊婦RS、高齢者インフル高用量） ・デジタル化準備	
事業費	予算（現額）	1,900,155,000	1,115,333,000	887,250,000	734,958,000	796,404,000	
	決算額	1,827,763,119	1,053,687,104	701,827,100	616,935,937	0	
	財源内訳	国支出金	912,481,680	560,676,666	4,921,680	4,333,384	0
		県支出金	0	5,768,490	78,000	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,259,965	1,843,520	103,885,990	1,280	0
		一般財源	914,021,474	485,398,428	592,941,430	612,601,273	796,404,000
人件費	従事職員数（人）	4.95	4.29	3.09	2.89	2.89	
	人件費相当試算※	38,954,308	34,363,608	25,406,725	24,498,802	25,456,533	
総事業費試算		1,866,717,427	1,088,050,712	727,233,825	641,434,739	821,860,533	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	接種勧奨回数	目標値	回	22.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		実績値		43.00	52.00	53.00	53.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		接種状況を見ながら啓発を図る。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	麻しん風しん（第1期）接種率	目標値	%	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		実績値		92.80	94.20	95.00	97.70		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における接種率を目標値として設定 / 接種率						
	実績値の算出式								
成果指標 2	高齢者インフルエンザ接種率	目標値	%	60.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		実績値		70.20	68.20	62.00	63.30		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績から目標値を設定 / 接種率						
	実績値の算出式								
成果指標 3	1歳～就学前までの麻しん罹患率	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における目標値と同様 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式								
成果指標 4	1歳～就学前までの風しん罹患率	目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00	0.00	0.00	0.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		国の麻しん排除計画における目標値に連動して設定 / 罹患率（保健所：感染症発症動向						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	感染症の発症予防、まん延・重症化防止のため高い接種率維持を目標に随時個別通知での接種勧奨、市公式LINE配信等で広く周知を実施。学童期の接種では学校保健と連携した。 特に法改正後、新たに定期接種となったワクチンについても実施まで期間が短い中で対象者への個別通知や医療機関への協力など円滑に実施できた。高齢者インフルエンザ予防接種についても昨年に引き続き高齢者コロナワクチンと同時に予診票の発送、周知を実施したし以上のことから評価Aとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	予防接種全体ではおおむね接種率を維持できた。麻しん風しん第一期の接種率が目標値の95%に到達したことなどから評価をAとした。
			評価者 健康推進係長 権田智恵子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	高齢者インフルエンザ、コロナワクチンは予診票の入力を自動取込できるようシステム改修を行い実施した。また、予診票をPDF化して事務の精度向上・効率化を図った。 また、予防接種予診票交付者についてはAI-OCRを活用し交付内容について一覧にし問い合わせ等を迅速に対応できるよう実施した。
			評価者 健康推進係長 権田智恵子